

### 上ノ国のヤリイカ漁はじまる

4月11日、町内近海でヤリイカが漁獲され、本格的なヤリイカ漁の季節が到来しました。

ヤリイカは高級な食材として珍重され、寿司ねたや刺身として利用されることが多く、北海道では産卵のため岸近くを回遊する春先にかけて多く漁獲されます。

4月の漁獲量は例年並みとのことですが、6月頃まで続く漁の始まりとして、まずまずのスタートとなった様子です。

また、昨年度までに町内の各漁港に冷却機能付き活魚水槽の整備が完了し、ヤリイカを含む活魚の出荷体制が整いました。

活魚は、鮮魚よりも単価が高く、出荷に際しては業者の水槽へ活魚出荷されるため、魚箱や氷などの消耗品代がかからないことから、収益の底上げが期待されます。



### 地域の絆を温めるふれあいサロン

4月7日、中央区町内会が主催する『ふれあいサロン』が行われ、今回は桜餅などのお菓子づくりが行われました。

ふれあいサロンは、高齢者の増加を背景に、見守りのネットワーク強化のため始まった活動で、町内で最初にふれあいサロン活動を実施した中央区は今年で5年目を迎えます。

中央区大島司町内会長にお話を伺ったところ、『見守りが活動目的の中心にあります。そしてそれを実現するために協力し合い、それがそのまま地域の絆にもなっていると感じていきます。』と話されています。

ふれあいサロンは、中央区を皮切りに、この5年間で木ノ子、北村、扇石、新村、上ノ国の各町内会にもそれぞれ活動の輪が広がっており、今後も地域の見守りネットワークの拡大が期待されます。



### クリーン作戦 回収困難なゴミもニ工夫で

4月23日、毎年恒例となつている全町一斉のクリーン作戦が実施され、道端や草むらのゴミが一掃されました。

前日の雨模様とは打って変わり、早朝から快晴が広がったこの日は、早い地区では6時半頃からゴミ拾いを行っている姿が見られ、精力的な清掃活動が行われていました。

毎年の清掃活動ではありませんが、そのなかでも海に面している地区は、例年新しいゴミが浜へ大量に流れ着き、特に扇石地区や汐吹地区などでは、住宅裏の高い防波堤の下にゴミが溜まり、清掃に多大な労力がかかっています。

しかし、同地区では防波堤の下で清掃した後、上からカゴを降ろし、ゴミを釣り上げて回収するなど、地域の試行錯誤で清掃活動が行われており、一人ひとりの工夫によって、私達のまちが一層綺麗に保たれている様子が伺えました。



### 春の交通安全週間 新入生が地域に見守られ登校

4月6日、入学式を迎えた本町各小学校に新入生が登校し、それに合わせ、子どもたちを見守る地域の方々の姿が町内各地域で見られました。

4月初旬は、新入生が通学に慣れということもあり、特に交通事故に注意する必要があることから、春の交通安全週間として、全国各地で交通安全見守り活動が実施されています。

本町でも現在3校ある小学校の通学路にて、交通安全指導員や地域の方が協力し、気温が低い日も雨の日も、子供たちを見守り続けていました。

現在本町は交通死亡事故ゼロ連続3000日を突破してさらに記録を更新しており、今後もこの記録を1日でも長くできるよう、一人ひとりが交通安全を強く意識して子どもたちを守りましょう。

